

(様式1)

令和4年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県国際健康プラザ 健康課

2 施設所在地
富山市友杉151番地

3 施設設置年度
平成11 年度

4 設置目的
すべての県民が健やかでやすらぎのある生活を送ることができるよう、県民の健康に対する意識の向上及び県民一人一人の健康づくりを支援し、併せて、国内外に向けて健康づくりに関する情報を発信する。

5 施設概要
敷地面積：10,7ha
主な施設
・生命科学館：1,736㎡
・健康スタジアム：トレーニングゾーン、屋内プールゾーン等 5,024㎡
・屋外健康づくり施設：トリムコース、じゃぶじゃぶ池等 約6万㎡

6 指定管理者
公益財団法人富山県健康づくり財団

7 指定期間
3 年
令和4年4月1日 ~ 令和7年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人）

H30	R1	R2	R3	R4
261,436	258,917	72,738	111,139	144,055

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H30	R1	R2	R3	R4
76,099	73,058	13,691	28,669	39,299

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H30	R1	R2	R3	R4
88,949	88,949	80,628	22,110	35,922

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、入館者数や利用時間の制限を緩和するとともに事業内容の充実を図ったが、コロナ前の令和元年度に比べ利用者は55.6%に止まっている。
・令和4年度の利用者は、令和3年度比129.6%であった。利用料収入は令和3年度比137.1%であった。

(2) サービス向上に向けた取組み

・令和3年度末に新たに整備された生命科学館オープンスペースを健康スタジアム事業のサテライト会場として積極的に活用した。また、イタイイタイ病資料館事業や団体利用時の会場として提供した。
・令和4年10月には生命科学館のリニューアルイベントを行い、eスポーツ体験や健康測定等実施した。
・高齢者向けの実践指導事業として従来から行っている「いきいきコース」の参加者に令和4年度から県立大学と連携したeスポーツを取り入れ、フレイル予防事業を実施した。
・令和4年度の新たな利用者サービス向上策として、健康スタジアムのエントランス付近において環境芳香を行った。また冬場の手荷物軽減を図るため、セルフ式のコートハンガーを受付前に設置した。（「お客様の声」における対応）
・平成18年度からの「利用者モニター会議」や平成22年度からの「お客さまの声」の箱に寄せられた要望等を踏まえ、利用者サービスの向上を図っている。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・平成12年度から県内遠方からでも利用できるよう団体の無料送迎を行っている。（当初はプラザ所有バスを使用し平成30年度からは借上げバス）
・平成17年度から「市町村の日」を設定し、当該市町村民に施設半額利用サービス等を提供している。
・健康スタジアムにおいては、令和4年7月から利用数制限を常時150名から200名に拡大し、9月からは1回利用時間を3時間までから4時間までに延長し、コロナ対策を講じながらサービス向上に努めた。
・令和4年10～12月の間、利用者数の回復を図るため、「期間利用（定期券タイプ）」の割引キャンペーンを行った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	「お客さまの声」の箱を設置し、アンケート用紙を随時回収
回答者数	59件
結果	・ロッカーサイズを大きくしてほしい。 ・利用時間等をコロナ前に戻してほしい。 ・自由参加プログラムを見直してほしい。
結果を踏まえた改善事項	・アンケートを回収した時点で対応を検討し、必要な事項についてはできるだけ早急に改善を図っている。 ・また、個別に回答すべき点については、掲示板で回答している。

②その他利用者の声を反映させる取組み

・公募モニター(6名)によるモニター会議を年2回開催し、施設の運営方法等について説明を行うとともに、意見・要望を聴取し、施設運営に反映させている。

③主な苦情と対応

・九州の方でレジオネラ菌のさわぎがあったが、健康パークではどうなのか。
→お風呂は週1回お湯を抜き、配管清掃を週4回行っている。プールは年2回水を抜き入れ替えている。レジオネラ菌等の水質検査については保健所の指導に基づき適切に実施し、基準をクリアしている。

・マシンの位置変更は良かった。シューズを履く椅子が少ない。
→マシンエリアは種類も増え、スペース的に目一杯になっているが、椅子の配置を工夫したい。

・風呂の扉が開いたままとなることがあるので、マナーを呼び掛けてほしい。
→今も十分な注意書きを貼っているが、貼紙の配置換え等で対処したい。

・スタジアムの床の凸凹対応はどうするのか。
→修繕を検討している。

(5)個人情報保護の取組み

・個人情報に関する指針を定めて、職員を周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6)関係団体との連携

・令和4年度は、県内の運動型健康増進施設等33施設で構成する「富山県健康増進施設連絡協議会」において、コロナ対応や燃料高騰、施設の老朽化をテーマに会議を開催し、情報交換を行った。また、県に対し健康増進についての積極的な広報を要望した。

(7)施設・設備の維持管理

・適切に管理されている。

(8)危機管理・安全管理などの取組み

・富山市消防局と連携した防火訓練の実施
・危機管理マニュアル等に基づくAED講習会の実施(12月,3月)
・コロナ下において健康スタジアムを営業するに当たり、新型コロナウイルス感染拡大防止マニュアル(入館時受付チェック、スタジアム内の消毒、感染者発生時の対応等)を策定(令和2年度)

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	3
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

なし

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・施設や設備、備品の老朽化が進んでおり、計画的な修繕・更新が必要
- ・市町村、企業等への利用促進による県内全域からの幅広い年齢層の利用の促進
- ・関係団体、施設との連携による健康増進の中核施設としての機能強化
- ・イベントの実施等による施設の一層の周知
- ・健康づくりに関して集積した情報やノウハウの公開
- ・「市町村の日」の活用をさらに呼びかけるとともに、利用可能日の拡充
- ・効率的な運営に向けた業務の見直しによる費用の削減徹底
- ・利用料金の決済方法の多様化に向けた、キャッシュレス決済の導入